

工学部ウェブサイトの更新業務について

谷口勝紀^{A)}、山口倫^{A)}

^{A)} 先端情報グループ

1 はじめに

工学部ではこれまで総務担当がウェブサイトの更新作業を行ってきた。この更新作業は担当者1名で行っており、更新後の確認も同担当者が行うためチェック機能が働かず、ミスが起こりえることが従来から危惧されていた。そこで作業者と確認者を分けたいとの要望があった。また、担当者が異動により数年で入れ替わってしまうため、引き継ぎによる更新作業の滞りなどの支障がでていた。そこで、工学部長および総務担当からウェブサイトの更新作業を技術部に行って欲しいとの要請があった。また、工学部創立120周年記念事業が行われるため、新規ページの作成依頼があった。2017年度に行ってきたウェブサイトの更新業務について報告を行う。

2 ウェブサイトの更新作業の流れ

2.1 作業の流れの変更について

ここでは主にお知らせ一覧へのニュースの掲載についての流れを説明する。

これまでは総務担当が掲載依頼の窓口となり、①情報提供者から依頼を受け、②お知らせ一覧へ掲載し、③情報提供者へ確認してもらっていた。しかしこれではミスがあった際には、間違った情報がそのまま公開されてしまう恐れがある。そこで本番同様の非公開ページを作成し、そこへ技術部が掲載し、総務担当が確認を行い、OKだった場合、本番ページへ掲載し公開することとなった。以下に更新作業の流れを示す(図1)。

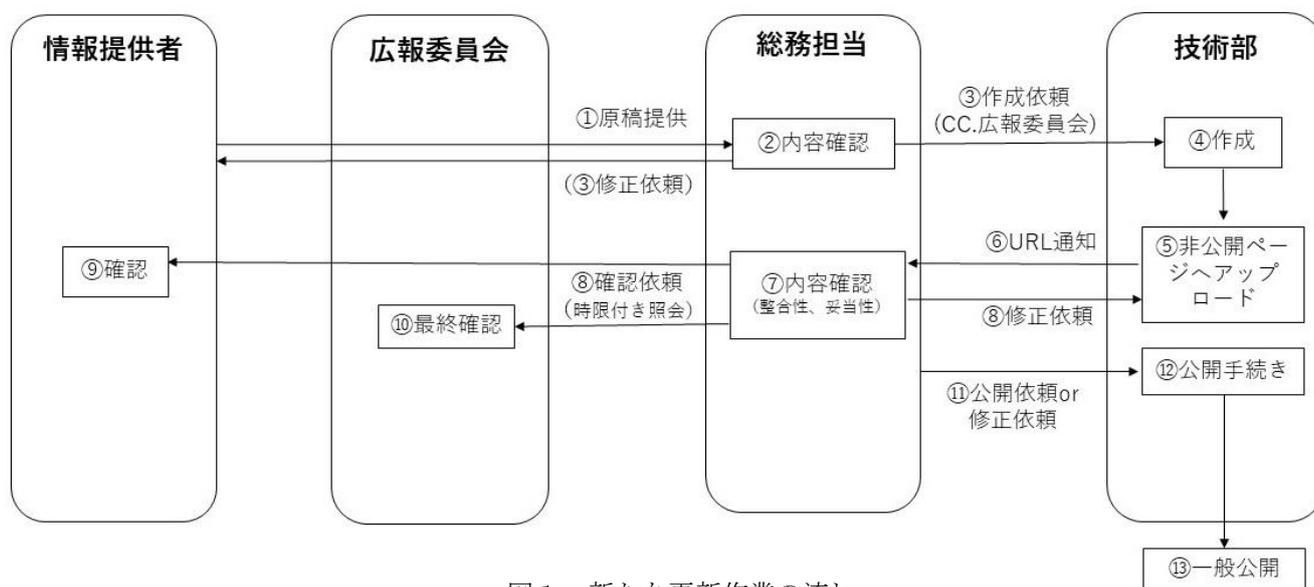


図1：新たな更新作業の流れ

作業の流れの変更により、これまでより公開するまでに手間と時間がかかることとなったが、確実な情報を公開できるようになった。

2.2 非公開ページについて

非公開ページは、本番掲載前に掲載内容にミスがないか確認をするために、技術部・総務担当・情報提供者・広報委員会など関係者のみが閲覧可能なページである。そこで、本番のコンテンツと同一コンテンツを準備し、VirtualHostにて設定を行い、異なるURLにてアクセスできるように設定を行った。またアクセス制限をかけ、学外へ公開されないように設定を行った。

3 工学部創立 120 周年記念事業のページ

工学部創立 120 周年記念事業の新規ページの作成依頼を受けた。2017 年（平成 29 年）11 月 4 日（土）に行われる記念イベントに向け広報する必要があるため、6 月よりウェブページの作成を始めた。総務担当とミーティングを行い、どのようなページレイアウトにするか、どのような情報を掲載していくかなど話し合った。工学部の既存のページと同じ外観にすることに決まったが、伝えたい情報がきちんと伝わるよう、見やすいコンテンツとなるようにページレイアウトを提案した。また、記念イベントが行われるまでの 6 月から 11 月の間に熊本地震で被災した工学部 1 号館の解体が進められていたため、解体の進行状況を写真で掲載することが決まり、担当教員から送られてくる写真データを週に 2 回ほどページに追加していくなど、頻りに更新を行った。最終的に 120 周年記念事業関連のページとして以下のコンテンツを作成した。

- 工学部創立 120 終焉記念事業
- 記念イベント（図 2）
- 冠行事
- 記念事業募金
- 熊本大学工学部研究資料館図録
- 工学部歴史写真館（明治～昭和編）
- 工学部歴史写真館（平成編）
- 工学部 1 号館解体・改築工事の経過（図 3）
- 記念イベント当日の様子



図 2：記念イベントのページ



図 3：工学部 1 号館解体・改築工事の経過ページ

4 まとめ

総務担当・工学部長・担当教員と連携をとり、工学部ウェブサイトの更新作業、新規ページの作成を行った。間違った情報を公開しないよう注意を払い、大過なく業務を行うことができた。